

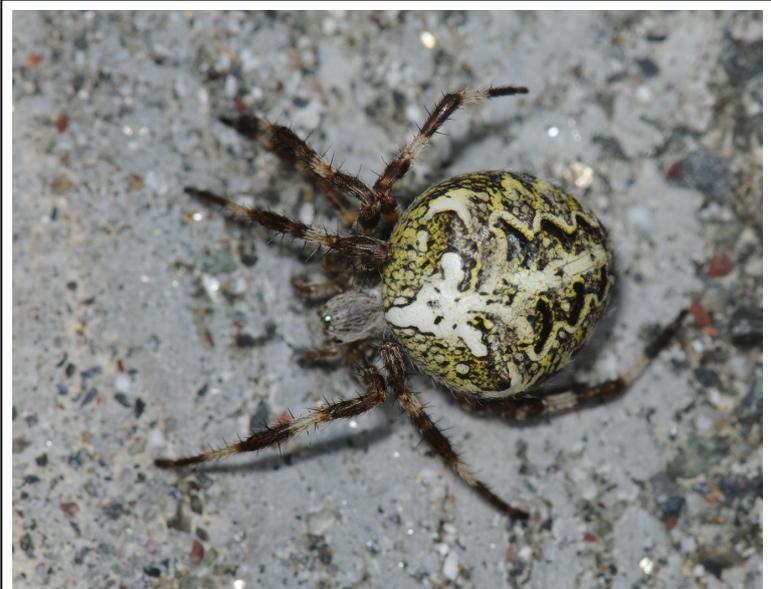
ニシキオニグモ *Araneus variegatus* Yaginuma

【選定理由】

県内での記録は 10 例ほどしかなく、どれも単独個体である。開発等の影響で生息域の縮小、個体数の減少が心配される。

【形態】

大型のオニグモで体長雌 12～16mm、雄 9～12mm。腹部上面は黄褐色と黒褐色の複雑な模様がある。腹部中央には黄褐色の縦斑がある。腹部下面は黒色で、外雌器と糸器の間に大きな橙色の斑がある。



豊田市稲武町(面ノ木園地), 2011 年 10 月 9 日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

岡崎市、豊田市(旧豊田市・旧稲武町)、西尾市、豊川市(旧一宮町)、田原市(旧渥美町)、北設楽郡設楽町で記録されている。

国内では、北海道、本州、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

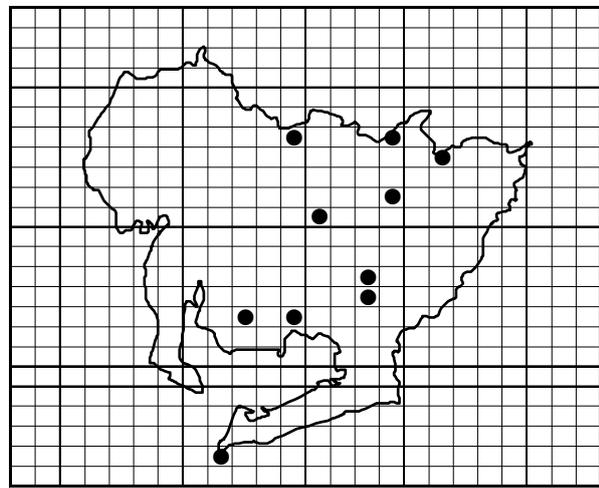
【生息地の環境／生態的特性】

海岸林から山林にいたるまで記録されているが、林縁部や神社仏閣の境内などの樹間や建物などに円網を張る。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内での記録は少なく、散発的で多くは単独個体である。最も新しい記録としては、2019 年 10 月に西尾市平原町で雌幼体が確認された。個体数やその減少率は不明である。

県内分布図



【保全上の留意点】

県内では山林から海岸林にまで散発的に記録される。生息地での伐採や開発は慎むべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.66,205. 偕成社, 東京.

八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.23,100. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.23. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.455,627. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.138,509-510. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)